

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年1月22日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年1月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【共用プール非常用電気品(B)区域送風機(B)用出口グラビティダンパの動作不良について】 共用プール非常用電気品(B)区域送風機(B)を起動した際、出口グラビティダンパ<sup>※</sup>の開度表示4箇所の内、1箇所が全開しないことを確認。 当該送風機の運転には問題なし。 今後、点検、調査を予定。</p> <p>※出口グラビティダンパ: 逆向きの風が流れないように逆流防止を目的としたダンパ</p>	GⅢ	1月11日
2	<p>【所内共通ディーゼル発電機(B)の補機冷却系配管付属の温度計破損について】 所内共通ディーゼル発電機(B)の定例試験後の現場確認時、補機冷却系配管付属の温度計が破損し脱落していることを確認。 今後は、以下のことより、当該温度計を使用しない方向で検討中。 また、以下の③より、所内共通ディーゼル発電機(B)の機能に影響なし。 ①定例試験時のデータ採取温度計ではないこと。 ②狭隘部に設置されており、今後も接触により破損の可能性があること。 ③温度監視は別計器により監視可能であること。</p>	GⅢ	1月16日
3	<p>【雨水回収タンクH9-3のフランジ部のパッキン破損について】 雨水回収タンクH9-3のフランジ部のパッキン破損を確認。 フランジ部からの漏えいはなし。 今後、タンク内部のシール材の劣化状況確認、点検予定。</p>	GⅢ	1月18日
4	<p>【測定結果のデータ未公開について】 2019年12月27日審議の不適合「データ公開資料の誤りについて」に基づき、過去のデータを調査した結果、構内休憩所および免震重要棟チェックポイントにおける携行品汚染発生件数について、2018年5月から2019年10月までの測定分が公開されていなかったことを確認。 今後、原因調査および対策を検討する。</p>	GⅢ	1月16日
5	<p>【共用プール低電導度廃液受けタンク(B)ドレン配管詰まりについて】 共用プール低電導度廃液受けタンク(B)のドレン弁を開操作したが、排水されないことを確認。 ドレン弁開閉の繰り返しおよびドレン弁配管を打診したが、排水に変化がなかった。 今後、ドレン配管の点検予定。</p>	GⅢ	1月20日